



祝賀会 (基地体育館)



オープニングセレモニー(基地エプロン)

千歳のまちの航空祭 2023

7月30日千歳基地航空祭が開催され、新型コロナウイルスの感染対策が解除4年ぶり制約のない状況での航空祭となった。

昨年に続き「ちとせのまちの航空祭」と銘打ち、飛行場地区及び政府専用機地区、基地外においてもグリーンベルトなど3ヶ所、合計5カ所において航空機及び各種装備品等が展示され、基地内には約6万3000人の入場者が訪れた。

午前中は曇りベースの天気にもかかわらず、政府専用機展示飛行、救難展示、F15及びF35による機動飛行が予定通り行われその迫力に観客は大興奮。

午後のフルインパルスの離陸前には雨が落ち始めたものの、雲底は高く殆どの課目を実施することができ、観客は華麗でスリルある飛行をワクワク・ドキドキしながら大いに楽しむことができた。

また、前夜祭及び当日の祝賀会には招待された国会議員、地方議員、自治体の長、企業及び協力団体等から多数の出席を賜り盛況な祝宴となった。

尚、千鷲会は前夜祭、祝賀会の主催者として延べ23名の会員が来賓対応及び受付業務等の支援にあたった。

千鷲会広報部 渥美



テープカット (基地エプロン)



低空飛行のF15(基地エプロン)



ブルーインパルスの妙技(空港地区から望む)



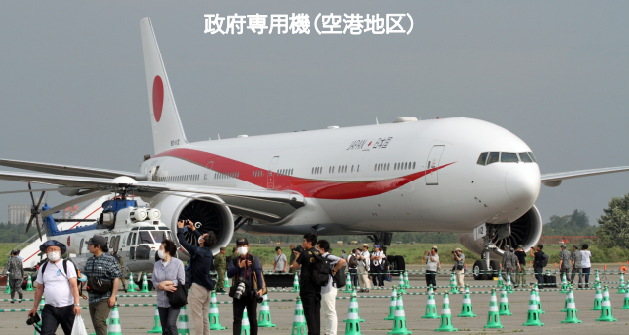
救難展示(基地エプロン)



空港地区から望むブルーインパルス機



編隊飛行に向けて(空港地区から望む)



政府専用機(空港地区)

航空祭に向け雄魂碑周辺の環境整備



7月22日、千歳のまちの航空祭に向けて毎年恒例の雄魂碑周辺の環境整備を行った。千鷲会員14名の熱中症対策の飲み物も準備され、現役隊員20名と心地よい汗を流しながら

7月22日、千歳のまちの航空祭に向けて毎年恒例の雄魂碑周辺の環境整備を行った。千鷲会員14名の熱中症対策の飲み物も準備され、現役隊員20名と心地よい汗を流しながら

心地よい汗を流して集合写真

編集後記

毎年航空祭が終わると夏が終わったように思えるが、今年は連日の猛暑で夏本番が続いている。我家は夜になっても室温30℃、編集のPCも経年劣化で熱中症気味、時々フリーズ。機嫌を伺いながら汗だくの作業。来期はエアコンが必要か？まずは年度の予算折衝から

- 物故会員**
- 2月 大島 勝彦 (緑町)
 - 2月 堅田 幸紀 (勇舞)
 - 2月 瀬崎 富弥 (清流)
 - 3月 須藤 貴 (当別町)
 - 8月 松塚 功 (長都駅前)
 - 8月 菅 章 (若草)
- 謹んでご冥福を
お祈り申し上げます

- 各紹介**
- 新入会**
- 4月 岸田 学特輸隊
 - 6月 菅原 義典(空司)
 - 賛助会員(個人)
 - 6月 渡部 謙太郎 (千歳市議会議員)
 - 賛助会員(団体)
 - 8月 田島工業(株)(北広島)

千鷲会の会員数
(8月20日現在)

正会員 406名

賛助会員

個人	15名
団体	17社

千鷲会広報部 渥美